

	項 目	状 態
身 体	麻 痺	右半身拘縮あり
	関 節 の 動 き	右上下肢に可動域制限あり
	褥 瘡 の 有 無	なし
	視 力	右視野欠損
	聴 力	普通
動 作	寝 返 り	何かにつかまればできる
	起 き 上 が り	手を付きながらできる
	立 ち 上 が り	何かにつかまればできる
	座 位 保 持	背もたれがあればできる
	立 位 保 持	できる
	歩 行	付き添い歩行 ふらつきあり
	移 乗	できる
	移 動	できる・長距離は車椅子使用
食 事	食 事 行 為	スプーンと自助皿使用して自力・左への食器移動支援
	水 分 の 状 況	むせなく摂取
	嚥 下 の 状 況	良好
排 泄	排 泄 行 為	リハビリパンツ・パット使用・トイレ
	尿	尿意あるも失禁あり 言葉かけ必要
	便	便意あり 便秘気味のため頓服で下剤使用
整 容	洗 面 行 為	ホットタオルを渡せば可
	体 を 洗 う 行 為	左手が届く範囲のみ自力
	口 腔 ケ ア	セッティングすれば可
	洗 髪	左手が届く範囲のみ自力
	整 髪	左手が届く範囲のみ自力
	爪 切 り	できない
	衣 類 着 脱	時間をかけて行うも仕上げが必要
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	日常の意志決定	できる時と出来ない時がある
	指 示 へ の 反 応	理解ができるが伝えるまでに時間を要す
	記 憶 ・ 理 解	あいまいな時がある
	意 志 の 伝 達	言葉の表出が難しい

IADL の情報 1-2 福祉 福子 様 (仮名)

	項 目	状 態
調理	献 立	できない
	切 る	できない
	炒める・煮る	できない
	味 付 け	できない
	盛 り 付 け	できない
洗濯	洗 う	できない
	干 す	できない
	た た む	左手で簡単なものはたためる
	片 付 け る	できない
買い物	品 物 選 び	できる
	支 払 い	できない
	購入品の片づけ	できない
掃除	掃 く	できる
	拭 く	できる
	整 理 整 頓	できる
縫物補修	糸 通 し	できない
	縫 う	できない
	修 復	できない
	針 の 管 理	できない
金銭管理	日常の金銭管理	できる
	通 帳 管 理	できない
	支 払 い	できる
電話	掛 け る	できない
	出 る	できない
通院	受 診	付き添いが必要
	処 方 箋	できる

事例の概要

① 基本情報

氏 名	福祉 福子
生年月日	昭和 20 年 10 月 10 日
性 別	女性
要介護度	要介護 3
障害高齢者自立度	A2
認知症高齢者自立度	Ⅱ a

②生活状況

5 人兄妹の次女として浜松市で生まれる。大学卒業後は、定年まで小学校教諭として地元の学校に勤めていた。定年後は、趣味の活動を楽しんでいたが、65 歳の時に脳梗塞を発症し、右半身麻痺とブローカー失語症の後遺症がある。リハビリ病院に転院後、付き添い歩行ができるまで、回復したが失語症は改善までには至らなかった。

夫と長男（45 歳）と同居している。元々出来ることは自分で行ってきっていたが、入浴時、しっかり身体や頭が洗えなかったり、ふらつきにより浴室で転倒しそうになったこともあり、デイサービスを利用しながら、10 年以上在宅生活を送っている。しかし、失語症のため家族以外との交流は、苦手意識があり、新たな関係作りは、疲れてしまい消極的になっている。現在のデイサービスは、失語症の対応や症状の理解があり、休むことなく通っている。発症する直前まで夫と毎週のように、野草図鑑の植物を探しに山登りやハイキングを楽しんでいた。

③健康状態等

脳梗塞後遺症（右半身麻痺・右視野の欠損・ブローカー失語症）

皮膚が乾燥しやすい

疲れると集中力の低下や感情のコントロールがうまくいかない

④趣味・好む活動

植物図鑑を見る

⑤家族構成

夫・長男（独身）・次男（結婚し同市内に住んでいる、子供 2 人）

⑥使用福祉用具

ベッド・L 字柵・立ち上がり補助器具・手すり

⑦生活習慣

夫と自宅周辺の散歩

⑧サービス利用状況

通所介護 福祉用具

介護保険認定期間 令和6年7月1日～令和9年6月30日

⑨サービス利用中の様子

職員とのコミュニケーションは、配慮することで取れるが、他の利用者との交流は限られた方のみとなっている。一方的に話しをする方が苦手で、理解をしていないことでもうんうんと頷いたり、騒がしい状況が苦手だったりするため、職員が配慮している。出来ることは自分で行いたいため、保有能力を確認しながら支援を行っている。最近では、理解力があいまいになり、職員の言葉かけに頷くことを繰り返し、意思の疎通が難しい時もある。

課題

気分がすぐれない福子様。本日入浴日にて脱衣場にいます。気持ちに寄り添い入浴支援を行い、浴室の椅子まで案内してください。